

2017年8月		
筆者	所属	千葉県農林総合研究センター 野菜研究室
	職名及び氏名	主席研究員 齊藤 俊一
題名	10月上旬まきホウレンソウの優良品種選定	

野菜生産面での主な問題は、気象変動による生育障害の発生、資材費の高騰、新規病害虫の発生、長期の連作による収量の低下等があげられます。これらを回避し安定的な生産を図るためには、作型に適応した病害虫に強い優良品種の選定が重要です。

そこで、都市近郊で栽培が多く、産出額 133 億円と全国第 2 位（平成 26 年産）であるホウレンソウを対象に主要作型である 10 月上旬まき露地栽培において、優良品種の選定を行いました（第 63 回千葉県野菜品種審査会）。

栽培期間中の平成 27 年 10～11 月は比較的好天が多く、平均気温は平年より高く推移しました。10 月は日照時間が平年より多めで降水量が少なく、11 月は降水量が平年より多くなりました。気温が高かったため、生育は前進しました。

供試した 18 品種のうち、5 品種が入賞品種となり、1 位は「F₁ 黒葉ルーキー」（中原採種場(株)）でした。以下、「ユアーズ」（カネコ種苗(株)）、「TC-014」（タキイ種苗(株)）、「スーパーヴィジョン」（トキタ種苗(株)）、「フォルティシモ」（(株)トーホク）の順であり、これらを優良品種として選定しました。

「F₁ 黒葉ルーキー」、「フォルティシモ」、「スーパーヴィジョン」は比較的小コンパクトで草丈が低く、商品性に優れる草姿でした。葉形はほとんどの品種が中間的でしたが、「スーパーヴィジョン」などいくつかの品種はやや剣葉でした。葉色はいずれの品種も濃緑であり、SPAD 値で 40 を超えていました。1 株重は「F₁ 黒葉ルーキー」が 28.7g となり、最も重くなりました。重要病害であるべと病の発生は、入賞した全ての品種で認められませんでした。入賞したいずれの品種も病害等に起因する欠株はほとんどなく、収量は 1,400kg/10a 以上となり多収でした。

表 優良品種として選定した 10 月上旬まきホウレンソウの生育及び収量

順位	品種名 (種苗会社名)	草丈	葉形	葉色 (SPAD 値)	1 株重 (g)	10a 当たり収量	
						株数 (株)	重量 (kg)
1	F ₁ 黒葉ルーキー (中原採種場(株))	小	中間	50.9	28.7	58,900	1,690
2	ユアーズ (カネコ種苗(株))	中	中間	50.8	24.2	59,700	1,442
3	TC-014 (タキイ種苗(株))	中	中間	44.9	26.9	66,100	1,776
4	スーパーヴィジョン (トキタ種苗(株))	小	やや剣	45.9	24.5	65,300	1,598
5	フォルティシモ (株)トーホク)	小	中間	43.8	23.3	63,200	1,470

注 1) 播種 10 月 8 日、栽植様式はベッド幅 110 cm、通路幅 110 cm、条間 15 cm、株間 4 cm、6 条、播種深度 1 cm で、シードテープ（ホルセロン）を使用し 1 粒まきました。

注 2) 施肥は 10a 当り化成 8 号（8-8-8）170kg、苦土石灰 100kg を全量基肥で施用した。

注 3) 草丈は達観で大中小の 3 段階、葉型は剣、やや剣、中間、やや丸、丸の 5 段階で評価

注 4) 審査日は平成 27 年 11 月 26 日